

H037 医療評価と社会実験的研究

前期 MPH 選択 MCR 必修

授業日時:	水曜日 3 限
担当分野:	医療経済学分野
担当教員:	今中 雄一 (Course director) 林田賢史、猪飼 宏 (Course co-director)、大坪徹也 非常勤講師: 予定あり
教室:	G 棟 2F セミナー室 C/D
主担当教員連絡先:	G 棟 2F 220 号室 医療経済学 内線 4454 今中: imanaka-y@umin.net 林田: kenshi-tky@umin.ac.jp 猪飼: hikai-kyt@umin.net 大坪: otsubot-kyoto@umin.ac.jp

I. コースの概要

- 医療評価を支える理論・モデルや、質評価のための主な研究手法を紹介する。
- 医療のプロセスやアウトカムの側面からの質測定指標の開発・検証、診療パターンのばらつきに関する研究、医療機能評価、医療エラーと安全性、医療の質改善、情報公開、関連する制度・政策などの課題を取り扱う。
- 医療のプログラム・制度等の効果の評価は、現実的な制約のためにしばしば理想的でない設定で行われるが、その際のバイアスや研究デザインのあり方についても学習する。

II. 学習到達目標(このコース終了時までには習得が期待できること)

- 医療評価研究に関する概念や研究方法等について、重要事項を説明できる。
- Quasi-Experimental Design の基本について説明できる。
- 医療評価研究に関するバイアスについて理解している。
- 医療評価の研究方法論を系統的、批判的に解釈できる。
- 研究プロトコルの作成や研究実施時に、習得した知識・技術を活用できる

III. 教育・学習方法

講義形式を主とし、小グループによる演習やディベートを通じて理解を深める。

IV. 学習資源

必須テキスト: なし。最低限必要な資料は講義にて配布する。

参考文献は講義中に紹介する。

V. 学生に対する評価方法

- 1) 講義への積極的参加・プレゼンテーション (配点比重 40%)
- 2) レポート (配点比重 60%)

VI. その他メッセージ

☆ 医療全般についての基本的な知識を前提に講義を行います。不安な方は初回に相談して下さい。

コース予定・内容

第1回	4月14日	医療の質とその評価:総論
第2回	4月21日	研究デザインとバイアス
第3回	4月28日	医療の質の評価法(各論)
第4回	5月12日	学生論文紹介デモ
第5回	5月26日	アウトカム研究・リスク調整
第6回	6月2日	Administrative data を使った医療評価
第7回	6月9日	学生による医療評価研究論文紹介1
第8回	6月16日	学生による医療評価研究論文紹介2
第9回	6月23日	学生による医療評価研究論文紹介3
第10回	6月30日	クリニカル・インディケーター
第11回	7月7日	医療におけるプロフェッショナリズム
第12回	7月14日	医療安全
第13回	7月21日	ディベート
第14回	7月28日	まとめ

* 5/19 医学部生チュートリアルにて休講。

* 日程等の変更は、その都度連絡する。